

たが

2016年11月(第151号)

こんにちは 
議会です!!

(滋賀県多賀町)



ささゆり保育園運動会

元気っ子集合!

- 27年度の決算を審査 …… 2
- 決算委員会 …… 4
- 9月定例議会 …… 6
- 補正予算・行政報告 …… 7
- 委員会審査 …… 8
- 子ども議会 …… 10
- 町政を問う(一般質問) …… 13
- たが いいとこ再発見!! …… 20

歳出

決算額 44億2053万円

約2.6億円の減少
(前年度比)

子育て支援など民生費が増加、
公共事業の減少、スマートインター計画が前進

防災・行政事務

7億9096万円
・総務費 6億5294万円
・消防費 1億3802万円

将来への積立て

2億2252万円
・中央公民館建設
... 1億5492万円
・まちづくり基金
... 1470万円
・その他 ... 5290万円

地方債の返済
(元金・利子)

4億3060万円

まちづくり

8億7157万円
・土木費 5億1526万円
・農林水産業費 2億4998万円
・商工費 2960万円
・議会費 7673万円



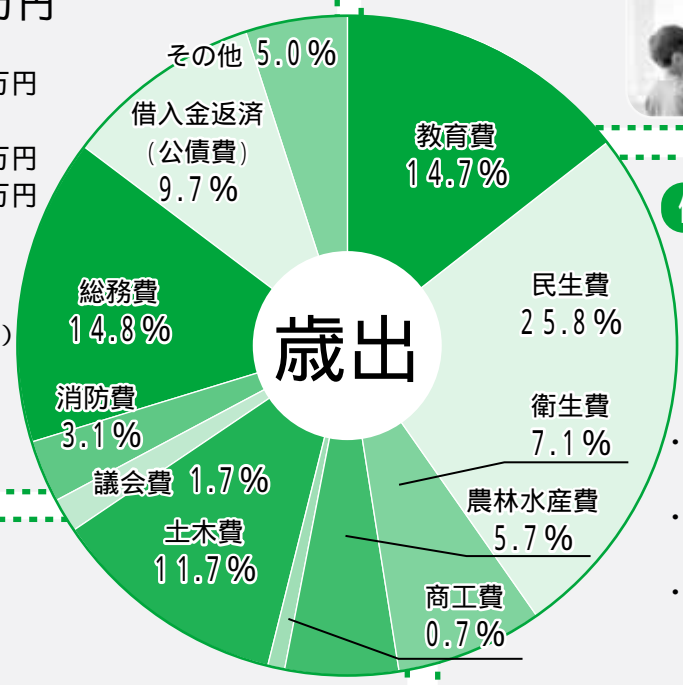
教育・生涯学習 (学校教育など)

6億4969万円
・幼稚園 4767万円
・小中学校 2億2355万円
・生涯学習 2億9794万円
・事務費 8053万円



健康づくり・福祉
(子育て、障害福祉など)

14億5521万円
・子育て・保育 5億2707万円
・社会福祉 6億1396万円
・保健衛生 3億1418万円



基金
(積立て)
(主なもの)

名称	積立て額(は使った額)	27年度末現在高
中央公民館建設基金	1億2933万円	7億7163万円
財政調整基金	253万円	8億7660万円
国民健康保険調整基金	6849万円	10万円
育英事業基金	330万円	5762万円
基金総額	1億1391万円	25億6482万円

27年度決算を審査

歳入

決算額 47億1784万円

約2.6億円の減少
(前年度比)

企業の法人住民税が減収
公共事業の減少で交付金が減

借入れ金 (地方債の新規発行)

4億4470万円
・臨時財政対策債 2億2140万円
・一般事業 8330万円
・保育園整備事業 1億2600万円
・緊急防災事業 1400万円



町税

18億7661万円
・住民税(個人)(法人) 6億212万円
・固定資産税 ... 12億410万円
・軽自動車税 2259万円
・たばこ税 4628万円
・鉾産税 152万円



消費税交付金など
社会福祉費など

2億2418万円

国庫支出金
国が使用目的を特定した交付金

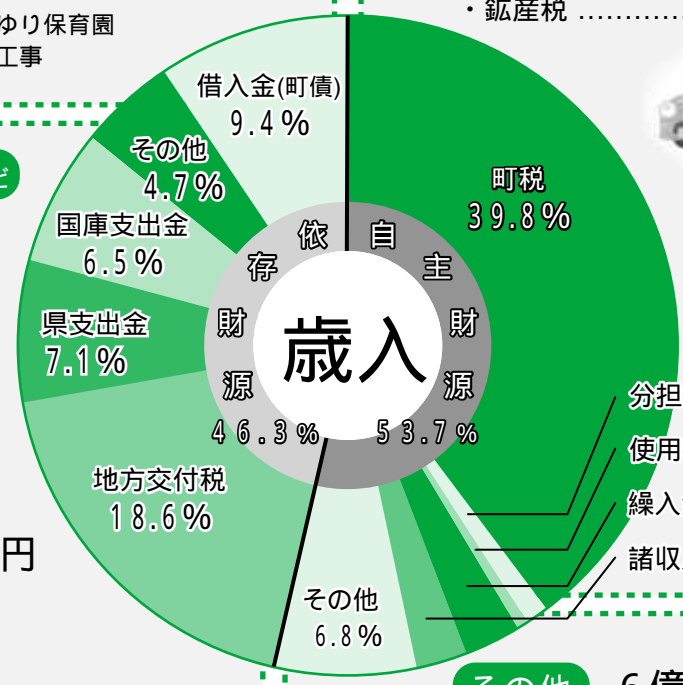
3億447万円

県支出金
県が使用目的を特定した交付金

3億3544万円

地方交付税
市町村の均衡をはかるための交付金

8億7695万円



その他 6億5550万円

・前年度からの繰越金 3億255万円
・他会計からの繰入金 1億3530万円
・諸収入 1億1599万円
・分担金・負担金 5994万円
・使用料・手数料 1953万円
・財産収入 555万円
・寄付金 1664万円

区分	一般会計の事業	特別会計の事業(上下水道)
前年度残高	50億9600万円	63億1992万円
新規借入れ	+ 4億4470万円	+ 3億30万円
返済(元金)	- 3億7537万円	- 2億5156万円
地方債残高	51億6533万円	63億6866万円
合計	115億3399万円	

地方債
(借入れ)

当委員会は、9月8日・12日の両日、27年度決算を委員全員と議長、執行者側より、町長、教育長、副町長、会計管理者、教育次長、議会事務局長、及び各担当課長、の出席を求め審査した。

行政事務・防災

(総務費・消防費)

おもな決算項目	(万円)
町制60周年記念事業費	501
各区自治振興交付金	1120
キラリまちづくり交付金	2016
若者定住支援交付金	582
消防本部委託金	9123
防犯灯設置費用	264
広報誌、HP関係費	811
有線放送補助金	250
福祉バス運行費	461
6町行政システム費用	2565
マイナンバーに係わる費用	3496
コミュニティバス	4046
愛のリタクシー	2256
県会・町長・町議選挙	1266

問 歳入の減額の原因は、法人町民税が景気悪化で大きく減額。地方交付税の減額は、道路など大きな工事の完成により国・県からの予算が減少したため、地方消費税交付金のみ増収となった。

問 27年度ふるさと納税と人気の返礼品は、731人から頂いている。米の返礼が多い。

問 コンビニ収納の取り扱い実績は、

答 一般税務が708件、水道関係が212件で、増加傾向にある。

問 「コミュニティバス」の「愛のリタクシー」共に課題が多い。

答 今後の対策は、運行時間帯の検討、愛のリタクシーは圏域との問題もある。しっかりと今後議論して行きたい。

福祉・健康づくり

(民生費・衛生費)

おもな決算項目	(万円)
社会福祉協議会補助金	2093
国民健康保険繰出金	7044
介護保険繰出金	1億1207
後期高齢者医療繰出金	2851
臨時福祉給付金	737
子育て世帯臨時給付金	286
介護給付費	1億1666
障がい児放課後児童クラブ	212
児童手当	1億2426
各種ガン検診、予防接種費	3309
ふれあいの郷維持費	860
庁舎屋上太陽光発電費用	2307
塵介処理費	9785
し尿処理費	3720

くすのきセンター



休日医療の重要施設

問 介護給付費の内容は、障がいをお持ちの方全般が対象者で、居宅訪問、施設介護などで現在50人。

答 市内には、現在2開業医院しかない。今後在宅医療が重要になる。

問 彦根市立病院内の休日急病診療所「くすのきセンター」の実績は、全体で4221人で本町の患者は186人である。

答 現在彦根の医師も往診されている。医師の確保は重要だと考えている。交渉中の方もおられる。

問 医師の確保は、

答 現在彦根の医師も往診されている。医師の確保は重要だと考えている。交渉中の方もおられる。

問 支援制度など課題もあるが時期が来れば、報告する。

教育・生涯教育

(学校教育費・社会教育費)

おもな決算項目	(万円)
保育園増築費	1億5529
幼稚園改修費	292
小学校特別支援員費	1016
小学校光熱費	1144
中学校改修費	338
中学校光熱費	879
海外研修費	480
新中央公民館建設費	2560
新公民館建設用地購入費	2000
文化財調査員費	1155
胡宮神社改修補助金	1000
あけぼのパーク光熱費	1159
あけぼのパーク改修費	322
プール2施設、ほか管理料	819

問 中小学校の給食費・運営費・調達先は、

答 小学生4000円/月、中学生4500円/月、小学校は、給食費収入2605万円。支出は、経費を含め6673万円、1人あたり約14万7000円である。

問 中学校は、給食費収入1222万円、支出は、4938万円、1人あたり約20万4000円である。

問 保育園での一時預かりの料金は、

答 4時間以内1500円、4時間を超える時は3000円である。



海外での体験を活かそう

海外研修(ニュージーランド)

問 あけぼのパークの電気料金が庁舎より高い。その原因と対策は、

答 空調機も古く効率が悪い。また、蛍光灯などが多くいたためである。空調機の買替で20%、LED化すれば40%節約できるが、費用の点で課題がある。

まちづくり

(農林水産業費・土木費 商工費・観光費)

おもな決算項目	(万円)
環境保全型農業補助金	1032
農村まるごと補助	1891
農業集落排水事業繰出金	4427
有害鳥獣駆除委託金	929
やまのこ事業委託料	879
除雪委託料	1158
スマートIC可能性調査費	1081
尼子急傾斜対策事業費	8273
芹谷栗栖地域振興繰出金	3808
芹谷ダム関連費用	2971
商工会運営補助金	770
がんばる商店補助金	300
観光協会運営補助金	530



歩道除雪(多賀地先)

問 鳥獣害対策費の大幅な減額は、

答 今年は例年に比べて「シカ」の捕獲頭数が351頭と少ないため減額となった。

問 集落除雪・融雪設備管理の委託先は、

答 多賀、富之尾、木曾融雪は、工業団地2カ所・絵馬通りを「喜多嘉和」に委託している。

問 環境保全型農業直接支払交付金は、

答 環境保全のメニューはいろいろあり、単価が決まっている。本町は5団体102人が対象者である。

問 東京都港区と木材供給において、協定を結んでいるが、内容は、

答 「大滝山林組合」「ケレスたなか」で取り組んでいる。今後6次産業化に向けて取り組んで行く。

9月定例議会

9/6

9/29



私たちのまち 財政は健全か

27年度の決算を 審査・認定しました

一般会計
歳入決算 47億1784万円
歳出決算 44億2053万円

特別会計

国民健康保険など (↓8ページ)
水道事業など (↓9ページ)

監査委員の報告

収支は2億3443万円の赤字である。
自主財源は54%と前年度に比べ増加。
法人税は減少しているものの固定資産の償却資産が増収、行政経費は、減少し経費削減努力の成果と思ふ。
健全化判断比率は良好。

代表監査委員 寺西 久和

Table with 4 columns: 区分, 歳入, 歳出, 収支. Rows: 多賀財産区, 大滝財産区, 霊仙財産区.

Table with 3 columns: 健全化判断指数, 27年度, 基準. Rows: 実質赤字比率, 実質公債費比率, 将来負担比率.

補正予算を 審査・可決しました

28年度一般会計 7127万円増額
28年度介護保険事業特別会計 610万円増額

Infographic titled '保育料について' explaining childcare fees based on district and guardian income, with a flowchart and icons.

幼稚園使用料条例が 改正されました

幼稚園使用料条例改正 28年4月1日より

契約

消防ポンプ車購入 2373万円
(株)奥山ポンプ商会
水槽付き消防車購入
絵馬通り第1工区 契約変更
393万円増額

教育長に 任命されました

山中 健一氏 (栗 栖)

教育委員に 再任されました

西澤 彰芳氏 (木 曾)

意見書を提出します

臨時国会でPPP協定を批准しないことを求める意見書
子どもの医療費助成に係る国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書

予算特別委員会

9/15

28年度補正予算を審査しました

Table with 2 columns: Item, Amount (万円). Rows include 認定こども園シンポジウム, タブレット端末購入費, etc.

問 認定こども園シンポジウムの内容は...

答 大阪教育大学の小崎恭弘准教授を招き、認定こども園のイメージを...

問 ライトアップ事業は...

答 地方創生の事業で、彦根市と共同で開催する。多賀大社、胡宮神社、大滝神社、...

問 川相消防センターの安全対策は...

答 川相派出所の移転場所に、コンクリートのよう壁を設置し、斜面の土砂が流れ込まないようにする。工法は重力式よう壁を採用した。



問 消防デジタル無線機とは...

答 多賀町消防団の幹部団員用に、13台購入する。アナログ機の廃止にともない、デジタル受信機を購入する。消防本部からの指示などを聞くものである。

問 タブレットの購入は...

答 職員用に30台購入する。2人に1台の配備になる。業務情報などの漏えいには十分に注意する。

問 配食サービスの現状は...

答 現在5人を対象に弁当を配達している。65歳以上の単身世帯が、身体に障がいがあることで調理が困難である人などを総合的に判断し、対象にしている。

問 住宅団地開発関連工事の内容は...

答 踏切付近の交差点の右折だまりを設けるための用地を購入する。



町長の行政報告

9%

27年度の決算の概要

一般会計歳入決算額47億1784万円、歳出決算額44億2053万円となり、財政収支の均衡、歳出削減努力により、基金積み立ても行い健全財政を堅持できた。

総務課所管

大滝地域の防災拠点となる川相消防センターの工事に着手。

企画課所管

中央公民館建設事業は、今年度は実施設計を行う。固定席100、移動席200で計画。
多賀SASMAARTIC整備計画は、今年度、実施計画書を策定し、期成同盟会を立ち上げ、地区協議会も設置し、国・県・関係機関等と調整・協議を図り、積極的に進める。

地域整備課所管

絵馬通り改良工事は、第1工区が8月末に完了、第2工区は、年内完成を目指す。県道多賀醒ヶ井線は、河内下村、中村、宮前、栗栖地先の道路拡幅工事が年内完成。

福祉保健課所管

65歳以上を対象の介護予防・日常生活支援総合事業が始まった。生活支援コーディネーターを配置し、高齢者への支援を始めた。

産業環境課所管

森林資源による地域活性化事業は、事業費5000万円、3年間実施。地方創生加速化交付金は、彦根・多賀の広域連携事業として、多賀大社、胡宮神社、大滝神社等をライトアップする。



萱原農業集落排水処理施設

安全・安心のまちづくり

産業建設常任委員会

9/14

委員全員と議長及び執行者側より町長、副町長、会計管理者、地域整備課長の出席を求め委員会を開催。補正予算2件・決算認定4件を審査した

補正予算

決算の認定

下水道事業特別会計

125万円追加、水道漏水による加算分の返金。

水道事業会計

50万円追加、水道漏水による加算分の返金。大口事業者の宅内漏水と一般住宅20件分。下水道は、全額を還付。上水道は、半額を還付。

問 新水源は、どの程度進んでいるのか。

答 昨年度の繰越事業で行っている。掘削深は、100mを予定している、現在68mまで進んでいる。

問 使用料が553万円、経費が4955万円である、今後の取組は。

答 使用料収入の伸びにも限界がある。将来的にも運営方法を考える必要がある。

問 農業集落排水事業会計。当事業の利用状況は。

答 萱原 66・67%
佐目 52・97%
南後谷 91・86%
霜ヶ原 71・93%

下水道事業特別会計

問 水洗化率は。また、向上させるには。

答 水洗化率は90・2%。今後も区長会等でお願います。

栗栖の町道工事が遅れている原因は。

答 地元との調整で遅れている。

未処分利益剰余金の処分比率は。

答 5%以内であったが、改正で積み立ての制限はなくなった。今年度も従来通り5%。

水道料金の値上げは、消費税の値上げの時期と合わせるのか。

答 国は、消費税の値上げを延期したが、予定通り値上げをお願いしたい。

区分	歳入	歳出	事業内容
芹谷栗栖地域振興事業	3億4011	3億4009	集落道、地域おこし
下水道事業	5億0094	4億4432	維持管理、清掃委託
農業集落排水事業	5336	4955	2カ所浄化施設管理
工業団地公共緑地維持管理	650	600	琵琶湖東部工業団地草刈
水道事業（収益的事業）	3億4598	3億1712	水道使用料
水道事業（資本的事業）	3億7019	4億9549	施設改良

閉会中の調査

8/23

委員会を開催し、委員全員と執行部から副町長、地域整備課長の出席を受け、絵馬通りの改良工事の説明を受け現地視察をした

主な質疑

問 第1工区の遅れている原因は。

答 土産物店など店頭工事が主で、半分づつの施工で大型重機の使用もできず遅れた。

問 道路と店舗の段差の問題は。

答 説明会で十分説明してきたが、道路完成まで解らないと言われた。

要望 第2工区の施工に当たっては、十分住民の皆様説明をし、苦情の無いよう、また、1日も早い完成を要望した。

総務常任委員会

9/13

4事業の決算と、条例の改正1件を審査した

国民健康保険

介護保険事業

問 国保加入者の人数は。

答 加入者は、1916人である。

問 決算の状況は。

答 基金の取崩しや、一般会計からの繰入れを行うなど厳しい状況にある。

問 基金残高は。

答 約10万円である。

問 要介護の認定率は。

答 15・9%である。

問 介護度別の人数は。

答 要支援1 14人
要支援2 25人
要介護1 125人
要介護2 65人
要介護3 67人
要介護4 71人
要介護5 27人

住民の健康増進を



後期高齢者医療事業

育英事業

問 加入者の人数は。

答 町内の75歳以上の方で、1303人。

問 保険料の月額額は。

答 全国平均5659円

問 検診の内容は。

答 後期高齢者健康診査があり、血液検査、尿検査、血圧測定、医師の診察がある。

問 奨学生の人数は。

答 高校生が7人、専門学校生が1人、大学生が11人である。

問 支給額は。

答 月額で高校生が7千円。ほか14000円。

問 基金の残高は。

答 5762万円である。

事業の決算

(単位：万円)

区分	歳入	歳出	収支	事業内容
国民健康保険	10億0160	9億9999	161	医療費、特定検診
介護保険事業	7億5007	7億3563	1444	介護給付、介護予防
後期高齢者医療事業	9264	9058	206	広域連合への負担金
育英事業	351	343	8	奨学資金の給付

介護施設の現状について調査しました



ファミリーステーション甲良

ファミリーステーション甲良（小規模多機能型施設）

どんな施設。

答 甲良町小川原区の民家を借りて運営。「通い」「訪問」「泊まり」のサービスを受けられる。地域密着型の施設である。利用者数は。登録制で、現在は18人が登録され利用している。多賀町の方も利用されている。

閉会中の調査

8/23

犬上ハートフルセンター（デイサービス事業）

問 デイサービスの利用者数は。

答 定員35人、1日平均30人の方が利用。

問 利用者の介護度は。平均2.5である。

答 年々重度化している。

多賀清流の里（デイサービス事業）

稼働率は。

答 86%である。

サービスの特徴は。

答 本人の希望を聞き、自主性を重視している。入浴も自立を促している。



多賀清流の里

入浴にも自立を

子ども議会 12人の子ども議員が まちづくりを問う

7/29

質問事項	ページ
はやかわ かえで 早川 楓 11 地域医療について	11
ふじさわ ゆうや 藤澤侑哉 11 大滝小の児童数の減少問題は	11
むらた あおい 村田 葵 11 安全な通学路と通学路の整備は	11
おがわ ふゆか 小川冬華 11 若者が住みやすくなる工夫を	11
とみなが ゆめか 富永夢香 11 滝の宮公園のプール利用期間延長を	11
つちだ まお 土田真央 11 空き家の現状と対策は	11
みやがわ まなか 宮川真楓 12 観光客を増やす取り組みは	12
もりた みれい 森田望鈴 12 富之尾地域をよりよくなる施設を	12
よしおか しんいちろう 吉岡新一郎 12 町産木材の活用と販売は	12
こやま うらん 小山羽蘭 12 動物被害の対策は	12
こばやし しゅんた 小林隼汰 12 お年寄りの交通手段は	12
やまくち だいき 山口大希 12 夜間の灯りと外灯対策は	12



多賀小6年 早川 楓

質問 地域医療について

問 彦根市にある大きな病院に行くのは、お年寄りには大変だし、バスや電車で行くのも不便だ。多賀町には大きな病院を作る予定はないか。



大滝小6年 藤澤 侑哉

質問 大滝小の児童数の減少問題は

問 大滝小学校の児童数が年々減り、このままでは小学校はなくなる。大滝にしかない魅力があれば若い人が住み活気が戻る。町は何か対策を考えているのか。



多賀中1年 村田 葵

質問 安全な通学路と通学路の整備は

問 藤瀬から多賀中学校への自転車による通学路で安全なルートはどこか。また歩道や道路の整備をすることは可能か。



多賀中2年 小川 冬華

質問 若者が住みやすくなる工夫を

問 中学生まで医療費無料化は進んでいるが、過疎化は進んでいる。高校生の通学費援助、家族や友達で使える施設を作るなど、若者を呼ぶ工夫はされているか。



多賀中1年 富永 夢香

質問 滝の宮公園プールの利用期間延長を

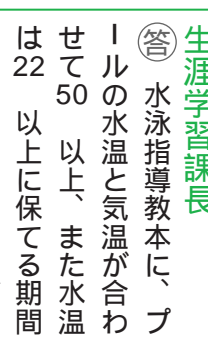
問 2年前の質問の際、水温の問題で期間延長は無理とお答え頂いたが、せめて夏休みいっぱいまで期間延長は可能か。



多賀中3年 土田 真央

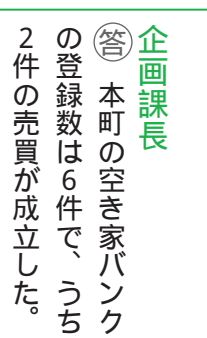
質問 空き家の現状と対策は

問 多賀町の空き家バンクの登録と空き家の利活用の現状。また崩落の危険がある空き家の対策は。



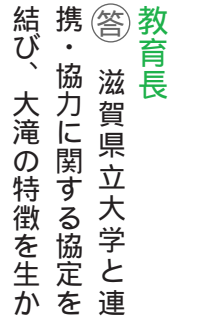
生涯学習課長

答 水泳指導教本に、プールの水温と気温が合わせて50 以上、また水温は22 以上に保てる期間を一般開放することが望ましいと規定があります。近年は温暖化によるものか、お盆を過ぎても猛暑日が多いので今年に限り、試行的に延長し、利用人数や費用対効果などを検討します。



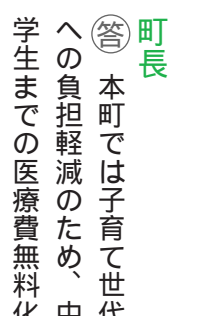
企画課長

答 本町の空き家バンクの登録数は6件で、うち2件の売買が成立した。27年からの調査で現在10集落の調査が終わり空き家は110件あります。今後もバンク登録推進を図り有効活用していきたい。また、崩落危険のある空き家は所有者に安全措置をお願いし、無理なら町が解体し費用を負担して頂く。



教育長

答 滋賀県立大学と連携・協力に関する協定を結び、大滝の特徴を生かす自律的で持続的な地域にするため、「大滝里づくりプロジェクト」を立ち上げました。幼児教育の進め方や特色のある教育、空き家対策、耕作放棄地の再生、有効利用、高校生の通学対策など人口増加と活性化に取り組んでいます。



町長

答 本町では子育て世代への負担軽減のため、中学生までの医療費無料化に加え、住宅の新築や増改築の補助、紙おむつや通学かばんの補助、部活やスポーツ活動支援など幅広く支援しています。また住宅団地の促進や木造の中央公民館建設など住んでみたい、住み続けたいと思われるまちづくりをしています。

質問事項	ページ
富永 勉 14 高取山ふれあい公園への道路整備を	
尾谷忠之 14 絵馬通り第1工区改良工事は 歴史文化基本策定事業の内容は 行政サービスの在り方は	
森 令三 15 川相未来創造会議は	
山口久男 15 大滝幼稚園の統廃合は 犬上ダム老朽化問題は	
菅森照雄 16 「障害者差別解消法」は 「ふれあいの郷」の風呂の利活用は	
松居 亘 16 子どもの貧困問題は 相続登記の奨励は 地震対策は	
川添武史 17 太田川の土砂撤去を 国民健康保険会計は	
竹内 薫 17 駅前再開発計画は 地域防災組織は	
木下茂樹 18 融雪剤の材質変更を 冬期の除雪計画は	
川岸真喜 18 住民ボランティアを支える体制を	
北川久二 19 野鳥の森 県有地湿地帯整備は 中央公民館の周辺整備は	

(印は、掲載しておりません。)

9月定例議会

11人が一般質問 町政を問う

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

質問 観光客を増やす取り組みは

問 電車やバスの本数を増やしたり宿泊施設を作る計画は。

答 系切り餅以外のお土産があれば良いし、営業時間をもう少し延長したり工夫できないか。

質問 富之尾地区をよりよくする施設を

問 総合学習で、富之尾地区の特徴を調べた。自然豊かで地域の人のつながりが深い。みんなが集える公園があればもっとよくなる。町は何か地域を良くする施設を考えているか。

答 現在、公共交通の利用は少なく、通過型観光地となっております。絵馬通りの整備を進め商店の賑わいを取り戻し、宿泊施設も含めた滞在型観光地となるよう取り組んでいます。

副町長 多賀小5年 宮川 真楓

企画課長 富之尾地区には、滝の宮スポーツ公園やグラウンドゴルフ場があり、有効に活用して頂き、町の補助金を使い、より素晴らしい取り組みをお願いいたします。

答 富之尾地区には、滝の宮スポーツ公園やグラウンドゴルフ場があり、有効に活用して頂き、町の補助金を使い、より素晴らしい取り組みをお願いいたします。

企画課長 富之尾地区には、滝の宮スポーツ公園やグラウンドゴルフ場があり、有効に活用して頂き、町の補助金を使い、より素晴らしい取り組みをお願いいたします。

質問 町産木材の活用と販売は

問 多賀町が誇る森林資源を有効活用し、町の大きな産業となれば良い。町産木材の家、テーブル、ベンチ、家具はどこで販売されているか。また販売促進の取り組みは。

答 本町では検討グループを立上げ、いろんな取り組みをしています。学校の机やお食い初めセット、大滝小体育館や多賀中のランチルーム、高取山宿泊施設に利用。家具やベンチなどは受注生産で対応し、町産木材使用の住宅には補助金を出しています。今後とも幅広く使ってもらえるよう、検討していきます。

産環境課長 多賀小6年 吉岡 新一郎

質問 動物被害の対策は

問 一ノ瀬では、クマやサルなどの動物の話をよく聞きます。サルに出会って怖い思いをしたこともある。多賀町ではどのような対策をしているか。

答 野生動物による木や野菜への被害が大きな問題になっている。町は、電気柵の設置の補助や追い払いの爆竹、花火も配布している。一ノ瀬では竹藪や立木の伐採も行い、集落と協力して野生動物が近づかない対策もしました。また駆除や捕獲も行い、野生動物の保護管理に努めています。

産環境課長 多賀小5年 羽蘭 小山

質問 夜間の灯りと外灯対策は

問 夜、自転車走って怖い思いをしたことがある。例えば、尼子や守野から金屋橋までの川沿いの道路など。多賀町の安全対策はどうなっているのか。

答 集落から集落との間については、町や商工会が通学路や歩道のある所を重点的に設置しています。守野から富之尾までの道路にも設置されているが、増設が必要か現場確認をし、優先順位の中で整備していきます。

総務課長 多賀中3年 山口 大希

質問 お年寄りの交通手段は

問 過疎化が進み、お年寄りが増加してきているが、買い出し等お困りのお年寄りに対する便利な交通手段の対応はあるか。

答 人口減少と高齢化が進み、身近な商店も減り、公共交通の利用者も減少し、維持が困難になりつつあります。本町では路線バスと予約型乗り合いタクシーの愛のりタクシーを運行しています。今後とも愛のりタクシーの利便性を高め、病院やスーパーへの利用、また彦愛犬地域に対応する形で充実を図ります。

企画課長 多賀中2年 小林 隼汰



質問1

川相未来創造会議は 魅力ある地域に人々を

—地域整備課長—

森 令三



川相未来創造会議

川相地区の役員の方々と相談していく。

女性の意見の必要性は認識しています。

情報誌「こんきくらぶ」を通じ、移住を呼びかけている。

地域整備課長

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「人口ビジョン」から人口減少への歯止めとして、川相未来創造会議を立ち上げ、5カ月が経過した。立ち上げから現在までの取り組みは、情報発信後、これらの活動及び、展開は、女性の会議メンバーへの参加は。

質問1

大滝幼稚園の統廃合は 幼児教育にも適正規模教育は必要

—教育次長・教育総務課長—

山口 久男



異なる年齢集団という縦の繋がりと比べると、同年齢の横の繋がりが大切である。同年齢集団の関わりから豊かな幼児教育の実践ができる。

問 大滝幼稚園の統廃合の問題点は、過疎化が進行しないか。地域活性化の取り組みと相反するのでは。同一敷地内にある小学校と連携をし、幼稚園を存続できないか。地元説明会での内容は、意見・要望をどのように反映するのかが、

教育次長

答 保育所の閉園が、直接少子化・過疎化の大きな要因ではない。放課後の子ども遊び場の確保、地域の子どもの交流の場として地域の活性化に繋がる。小学校との共同行事は、異年齢集団という縦の繋がりと比べると、同年齢の横の繋がりが大切である。同年齢集団の関わりから豊かな幼児教育の実践ができる。

教育総務課長

問 認定こども園の要望が本当にあったのか。降園時間が異なるため職員、園児への影響は。保育室・調理室の問題点、運営・保育料の問題点をどのように住民へ説明するのか。

認定こども園の問題点は

大滝地区の人口予測、幼児教育施設の現状などと、子育て支援制度の概要や認定こども園を説明し、ご意見を伺っている。集約した上で、議会に報告し、あり方検討委員会での議論を重ね、施策に活かす。

質問2

犬上ダム 老朽化問題は

問 犬上川ダムは竣工後70年が経過し、地震・自然災害の危険性は。ダム湖の堆積物の搬出計画は。

産業環境課長

答 重力式コンクリートで、最も頑丈な構造で問題は無いが、ハザードマップの作成により大災害に備える。堆積物については、犬上川沿岸土地改良区において、基幹施設の更新時期に合わせて浚渫を計画されている。

質問1

高取山ふれあい公園への道路整備を 安全最優先に努め徐々に整備する

—町長—

富永 勉



ふれあい公園までの道

問 近年賑わいのある高取山ふれあい公園のアクセス道路は危険な箇所がいくつかあり、道路の幅やガードレールが必要と思うが。

町長

答 町道高取線は林道規格になっており、観光道路には不十分であるが、大規模な道路改良整備予定はない。

しかし、大型バスの運行もあることから、大滝橋の長寿命化も含め、舗装修繕や待避所、道路拡幅など重要度の高い箇所から予算の範囲内で徐々に進めて行きたい。

質問1

絵馬通り第1工区改良工事は 第2工区へ改善点を活かす

—地域整備課長—

尾谷 忠之



工事中の絵馬通り

問 絵馬通り第1工区改良工事の検証について。工期が大幅に遅れた原因は何か。

答 契約における遅延金支払い義務の有無、結果は、工事期間内におけるトラブルは、地域住民に対する説明は適切であったか。今後の改善点は。

地域整備課長

答 観光客の歩行者や通行車両が多く、各個店へ配慮した施工法を実施したため。請負人の責任とは言い難く、請求しない。NTTケーブルの切断と数件のクレームあり。説明会を実施し、1軒ずつ説明にも行った。工程管理の徹底とノウハウを次の工区に活かす。

歴史文化基本策定事業の内容は

問 事業内容と委員会内容。現在の進捗状況は。SLアクションというイベントの主旨が町のSLの譲渡先を探すという方針と違うのでは。

生涯学習課長

答 この事業は、地域に存在する文化財を幅広く把握、調査し総合的に保存活用する文化庁認定の取り組みである。委員構成は歴史、地質、自然分野の有識者や地域代表と文化庁、県・ネクスコ中日本、行政で組織し、過去2回会議を開催した。計画書策定のための資料収集、聞き取り調査、



有効活用が待たれるSL

問 何ら町の方針の変更はなく、現在も譲渡先を探して有効活用して頂きたいというのが基本方針である。

企画課長

答 今回、基本構想の中で調査対象としたもので、近代化文化遺産等の文化財として認めざるを得なく、町の方針を曲げることなく、SLの有効活用を広く意見を求めるためにイベントを開催した。



質問1

太田川の土砂撤去を

—地域整備課長—

県に要望しているが、難しい

川添 武史



太田川(多賀地先)

地域整備課長
答 太田川を始め、他の河川についても浚渫を県に要望しているが、経過観察との回答である。今後、少しでも好転するよう知恵を絞っていきたい。

問 近年の雨は、想像以上で、全国に大きな被害をもたらしている。多賀区も以前は、太田川の掃除を年1回していたが、近年の異常気象により、2回の川掃除となった。しかし、高齢化により土砂撤去が難しくなった。県の対応はどうか。

答 1人当たりの医療費は、40万円弱で、県下1位である。しかし、40歳以上75歳未満が対象の特定健康診査受診率は上昇し、県内2番目と高い。今後、給付費の伸びも予想され、国・県、社会保険診療報酬支払基金からの交付金も増額となる。一般会計繰入金や県の国民健康保険広域化等支援基金を活用する。

国民健康保険 会計は

問 国民健康保険は、自営業者、退職者など約4割が加入している。国保会計の基金も、27年度末で10万円を切る状態である。今後の対応は。



質問1

「障害者差別解消法」は

—町長—

法令遵守と積極的対応で

菅森 照雄



内閣府HPより

町長
答 法律を受け、多賀町における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を作成する。毎年実施している職員人権研修のテーマに定め、職員への周知を図り、今後、体制整備を図る予定である。

問 4月から「障害者差別解消法」が施行された。行政は率先した取り組みが義務づけられており、今後の取り組みや体制整備はできているのか。

質問1

子どもの貧困問題は

—教育次長・福祉保健課長—

情報を共有し協議して対応

松居 亘



教育次長
答 就学困難者には通学用品費、校外活動費、学校給食費、修学旅行費などの支給を設け、育英事業もしている。

福祉保健課長
答 子どもの貧困問題は親の生活困窮の状況から波及した問題で、一体的対応が必要である。県は各町の社会福祉協議会に委託している。町も協力し、対応している。「要保護児童対策協議会実務者会議」で、児童の状況の情報共有化を図り、協議を実施している。児童扶養手当制度、福祉医療費助成制度、民生委員による相談、ひとり親家庭の見守りもお願いしている。

問 子どもの貧困問題に対する県の指導は。本町における対策は。ひとり親家庭への支援策は。教育現場との連携策は。

質問1

駅前再開発計画は

—企画課長—

都市計画マスタープランの目標の1つである

竹内 薫



企画課長
答 駅前周辺の再開発計画は、多賀町都市計画マスタープランで、本町の顔にふさわしい景観づくりが目標の一つに掲げており、また、中心市街地活性化基本計画の中で、



駅前周辺整備

問 多賀S.A.スマートICが出来る事により「トライアングル構想」が実現する。開業に併せて間違いなく、来町されるお客様が増える。観光客がいかに長時間滞在でき、満足できるかが重要になる。これを機会に、駅前周辺の整備と門前町の街並み整備も併せて計画する時期に来ているのでは。

地域防災組織は

問 若者の地域からの流出、高齢化により、現在の組織の存続が危ぶまれている。町として、地域防災組織のあり方は。

総務課長

答 地元主導の防災組織が重要かつ不可欠と考えている。町として、集落へ防災講演会の案内や防災訓練の合同開催、自主防災組織の育成強化に努めている。

教育現場と福祉関係者が密接に連携し、児童の健全育成に努めている。



質問2

相続登記の奨励は

問 不動産の所有者が亡くなった場合、被相続人は早期に相続登記をすべきだが、相続未登記があるとどう思う。

税務住民課長

答 固定資産税の納税義務者の住所、実態が不明瞭で、課税徴収事務に支障もあり、相続登記を奨励する必要がある。9月1日より、死亡届が申請された際に、相続登記の案内リーフを配布するなど、きめ細かい案内と啓発を始めた。

質問3
地震対策は

問 地震対策で住民への周知は。町内における被害連絡体制は。熊本地震へ派遣した職員から、どのような報告を受け、その経験をどう活かすのか。

総務課長

答 地震ハザードマップを配布し、ホームページにも掲載している。道路の寸断等危険性の高い、上水谷、河内下村、南後谷、大君ヶ畑、萱原の5集落に衛星携帯電話を配備し、災害時の緊急連絡に備えている。被災宅地危険度判定士を5日間派遣し、被災後の宅地を判定した。今後は、建物の危険度判定士(3人)の養成を予定している。



質問1

野鳥の森 県有湿地帯整備は —町長— 整備計画を県と協議する

北川 久二



県所有地の湿地帯(一円)

問 ダム堰堤下の県有湿地帯では、希少植物の調査が、獣害により遅れている。
26年度の調査結果と整備計画の進捗状況は。

町長 県の自然環境調査が現在実施中である。中間報告は提出されたが、後期分の報告を待つてからの対応となる。整備計画は、専門家を交え、県と協議する。

芹川を活用した「やすらぎの創生」の見解は。

「町道、八重練・大岡方面」の拡幅改良は。「大手橋」の拡幅工事は。

問 中央公民館から306号線(多賀方面)の歩道整備は。

質問2 中央公民館の 周辺整備は

町長 道路管理者の県・警察と協議を進め、早期整備を要望する。

中央公民館までの拡幅は、河川協議等、必要な協議を行っていく。大手橋橋梁長寿命化事業と合わせ、今後考えしていく。
芹川景観形成地区が国道より下流であることから事業化には困難が予想される。
みずべ未来事業による河川の親水化が図れるよう県に要望する。



質問1

融雪剤の材質変更を —地域整備課長— 価格差はあるが県に要望

木下 茂樹

町内の融雪剤の 使用量は

問 製剤の多くは塩化ナトリウム・カルシウム製だが、環境への二次的影響が指摘されている。特に、自動車の金属腐食、動植物への影響があり、今年度からでも見直しが必要である。
県に対して低腐食剤への変更を要望しては。

地域整備課長

答 26年度散布量は町が19t、県は230tで、年度により変動はある。町では塩化ナトリウムを使用。低腐食剤の価格は約十倍となる。腐食問題は、沿道住民の方々から指摘されている。動植物などの自然界への影響がないとは言えず、材質の変更や散布量についても申し入れる。

質問2 冬の 除雪計画は

問 冬の国道・県道・町道の除雪計画と変更を伴う委託内容は。全国的に除雪時の事故も多い事から、職員の業務負荷、業者への安全教育の徹底を。

地域整備課長

答 国道・県道は県が実施し、町道の幅員4m以上は町が実施している。町道は、職員による直営除雪と工業会への委託がある。業者の減少から集落へは、車両を貸与し対応している。自動観測地点は、大君ヶ畑、仏ヶ後、大岡で積雪量10センチが基準である。作業員の安全教育を更に徹底する。

質問1

住民ボランティアを支える体制を —町長— 行政、各団体、住民の連携を強化する

川岸 真喜



問 高齢化が進んでいる 住民ボランティアに、高 齢者の見守り、声かけ活 動が求められている。困 りごと支援事業も、シル バー人材センターから社 会福祉協議会へ引き継が れた。住民によるボラン ティア活動を支え、高 齢者福祉の充実を。

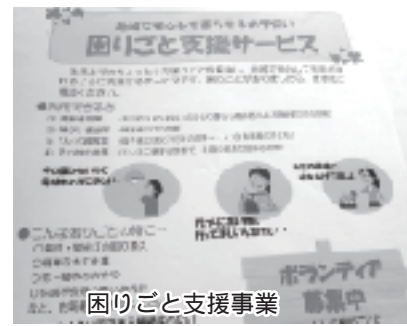
シルバー人材センターの登録者数と活動は。困りごと支援事業を社会協力が引き継いだ理由は。

福祉保健課長

答 27年度末で231人。年々減少傾向にある。主な活動は、植木や葉刈りなどの造園、除草作業、子育て支援、表具、屋内清掃など。

町行政の 関わりは

町長 今年から福祉会代表者会議を始めた。意見交換をし、サロン活動の充実を図りたい。行政や社会福祉協議会が中心となって、地域の民生委員、日赤奉仕団のみなさんと連携を強め、高齢者の福祉向上を進めていく。



気軽に懇談しませんか？

私たちは、議会活動の充実を図るため、各集落や各団体の皆さまとの懇談会を開催しています。

懇談会は、随時受付をしています。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。

お気軽にご連絡ください。

議会事務局 ☎ 48-8126
(有線) 2-2011



たが いいとこ再発見!!

第11回

小原と
土田

小原

川村 幸義さん

Q 集落のいいところは、
A 人の温かさです。

外から来た私たちに、
気さくに声をかけて下さり
りとても感謝しています。
日々の生活のことはもちろ
ん、この地に伝わるお祭り
や行事など、これから沢
山教えていただけることを
親子共々、とても楽しみに
しています。



川村ファミリー

Q 今後の夢は。

A 以前は営林署で仕事を
していましたが、この度、
ご縁があり、4月より、
大滝山林組合に寄せた
ていただくことになりました。

仕事は、主に高取山ふ
れあい公園の一切の仕事を
しています。今後の夢は、
自然豊かな小原での生活を
子ども達と共に大いに
楽しみながら、次世代に
古き良き集落の伝統を
伝えるお手伝いが出て
来るようになることです。



林業の活性化に一躍

土田

横森 元一さん

Q 集落のいいところは、
A 昔ながらの助け合い
が根づいた村です。

いい意味で、こだわり
を持ったお年寄りが多く
農業について、いろいろ
なことを、丁寧に指導し
ていただいています。また、
なにかあればいつでも
相談にのってくれる方が
沢山おられます。心強い
です。



ハウスで小松菜の栽培

Q 今後の夢は。

A 26年6月より東京で
のサラリーマンを辞め、
農業へと転職しました。
現在は、小松菜、多賀
ニンジンを中心に栽培し、
多賀の保育園・小学校に
も届けています。

将来は、どこにも負け
ない、おいしいお米の生
産をメインに、おいしい
野菜をつくり、新しいビ
ジネスの構築と若い方が
農業に入りやすい環境を
つくり、共に手を取り合
える農業を目指したい。



多賀ニンジン畑

議会を傍聴してみませんか? 12月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
12月6日	6日(火) 9:30~ 議案審議
12月21日 (16日間)	7日(水) 9:30~ 一般質問
	21日(水) 13:30~ 議案審議

日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126
(有線) 2-2011

原稿募集!!

あなたの住んでおられる地域の
自慢をお聞かせください。

【応募資格】 多賀町にお住まいの人
【応募方法】 2000字程度
【募集期間】 平成29年
1月6日(金)

地域の魅力を再発見できるコーナーを
めざし、取材や写真撮影も伺います。
議会事務局までご連絡ください。



飯盛木と青竜山

編集後記

富山県議、富山市議の
政務活動費問題は連日マ
スコミをにぎわせていま
す、この始まりは兵庫
の野々村議員の号泣会見
ではないでしょうか。
また、この事で議会の
あり方も問題視されてい
ます。

議会広報は、議員が日
ごろ何をしているのかを
町民の皆様知って頂く
重要な冊子です。
町民の皆様「読まれ」
「伝わる」べく、わかりや
すく読みやすい、紙面づ
くりを努めます。
ぜひともご意見をお寄
せください。
川添 武史 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

F 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎ 0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131
有線 2-2011

ホームページ http://www.town.taga.lg.jp/
E-mail gikai@town.taga.lg.jp